



令和4年度学校評価アンケートの結果

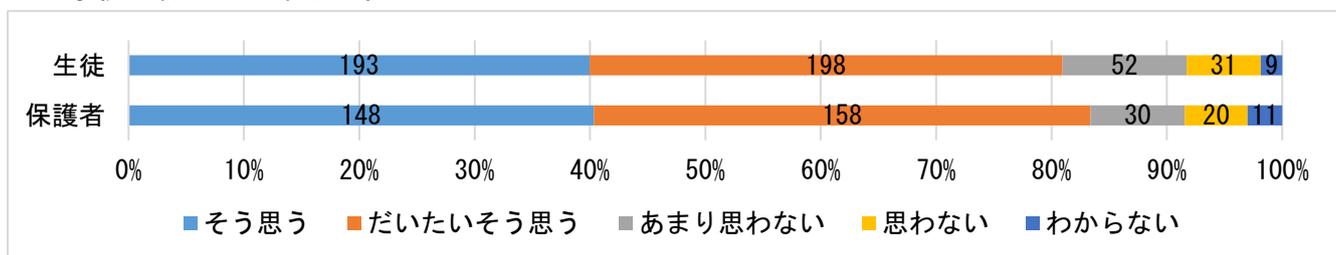
令和4年度学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。本年度も、タブレット端末を活用してウェブ回答方式を実施しました。本校の現状についてさまざまな視点から励ましのお言葉や改善に向けてのご意見をいただいたことに、深く感謝申し上げます。

○実施時期 令和4年11月

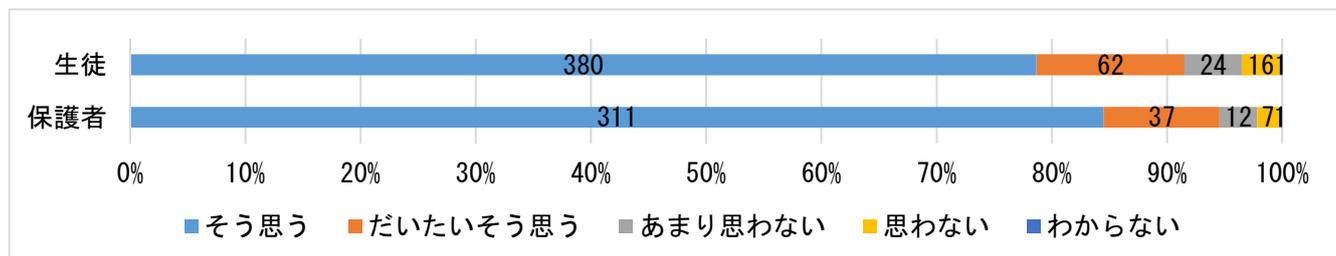
○回答数 生徒：483（回答率92%） 保護者：367（回答率77%）

【基本的な生活について】

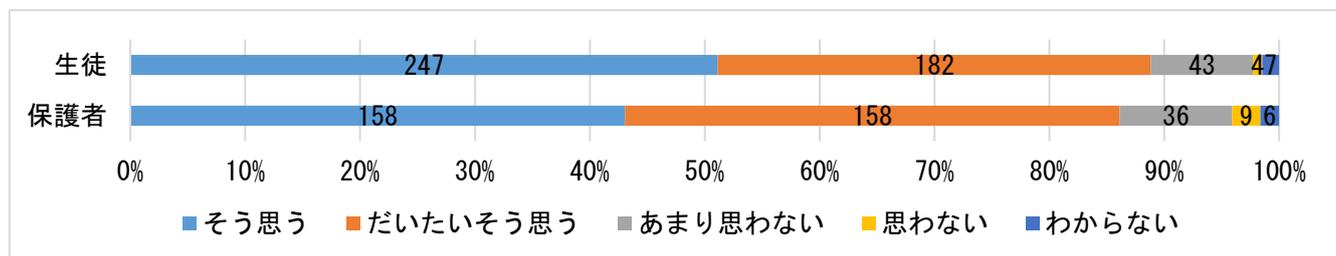
1. 学校へ行くのが楽しい。



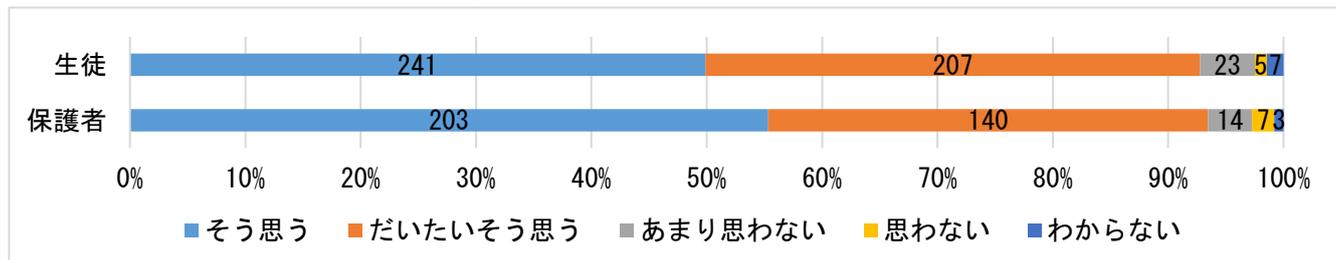
2. 朝食を毎日食べている。



3. あいさつや返事を自分からしようと心がけている。



4. 「中部中生徒の心得（頭髪・服装・時間など）」を守り、規律正しい生活をしている。

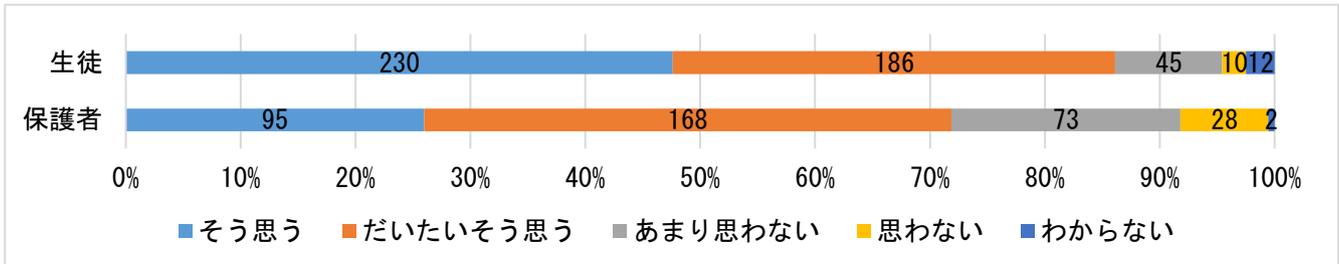


ご家庭の協力により9割以上の生徒が、ほぼ毎日朝食をとって登校しています。反面、食べてきていない生徒の午前中の体調や学習意欲の低下が心配されます。起床時間も大きく関わるとお考えですので、家庭での生活リズムに気を付けていただくことも大切です。

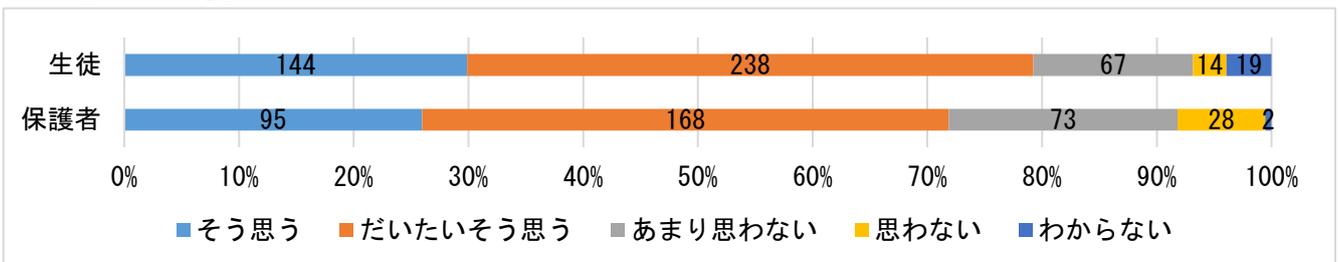
あいさつや返事を心がけている生徒は8割、ルールを守って生活している生徒は9割を超えています。しっかり学校生活を送っている生徒が多いと言えます。学校としては、8割程度となっている「学校へ行くのが楽しい」と感じる生徒がさらに増えるように、学校生活の内容の充実を図り、魅力ある学校をつくることの必要性を感じます。

【学習面について】

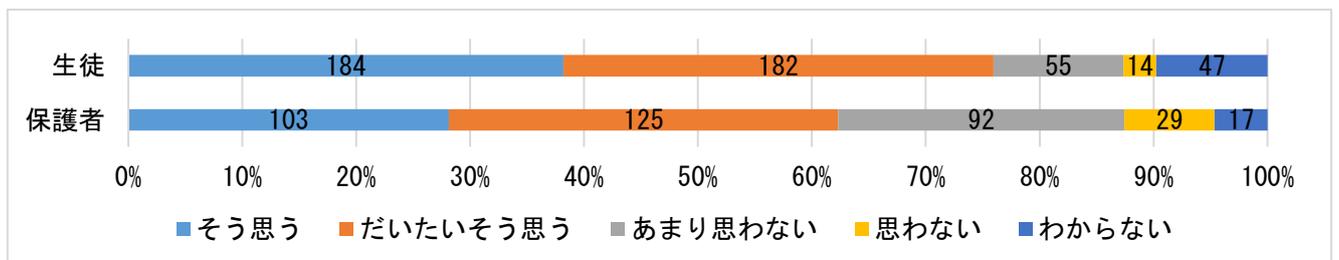
5. 学力を高めようと授業にしっかり取り組んでいる。



6. めあてを意識して授業に取り組み、授業を通して「分かるようになった」「できるようになった」と感じている。



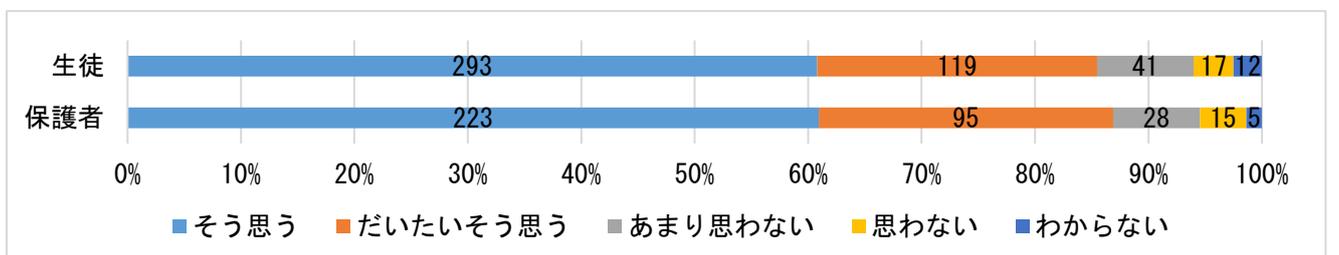
7. 進路についての学習は、将来の夢や仕事について考える機会となっている。



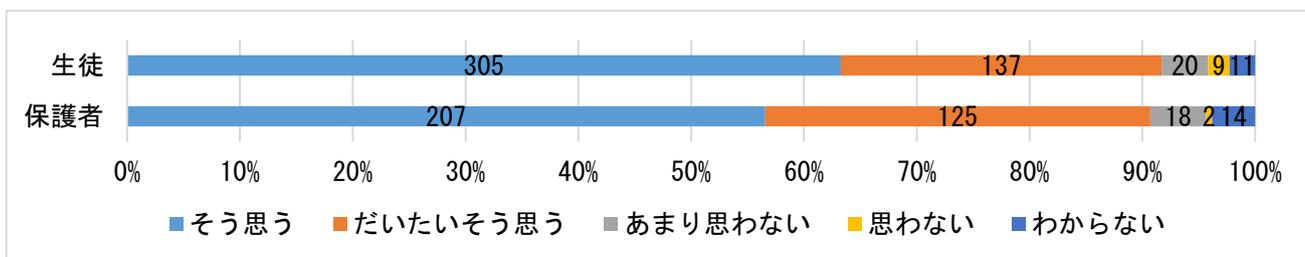
学習面の設問には、生徒は「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が8割程度あり、結果からは、学習に対して真面目に取り組んでいる生徒の姿勢が感じられます。しかし、保護者が望んでいる姿とお子さんが目標としている姿に差があるようです。ご家庭では、授業の様子や学習や進路について話題にさせていただくとよいかと思えます。学校では、生徒が学習意欲をもてるような授業改善に努めていきたいと考えています。

【特別活動・部活動について】

8. 係活動や委員会活動などで担当した仕事について、自分は最後までしっかりとやり遂げている。



9. 行事や部活動に進んで参加している。

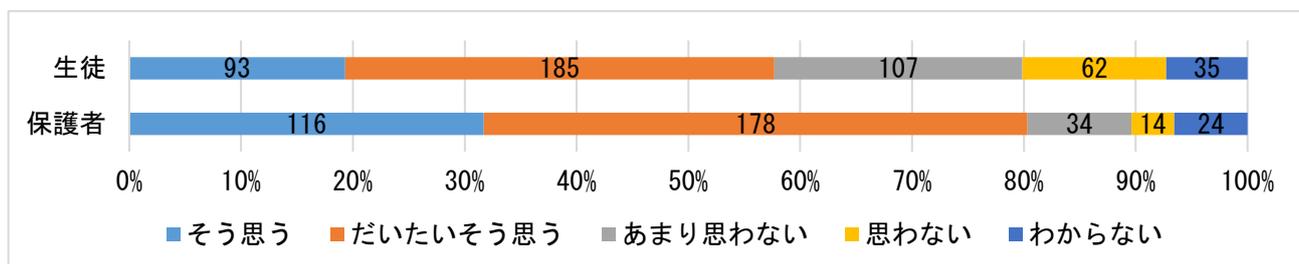


任されたことに対して責任をもってやり遂げている、やり遂げようとしている生徒が多いことをうれしく思います。学校では、やり遂げた姿を認め、賞賛し、次への動機付けとなるよう努めます。

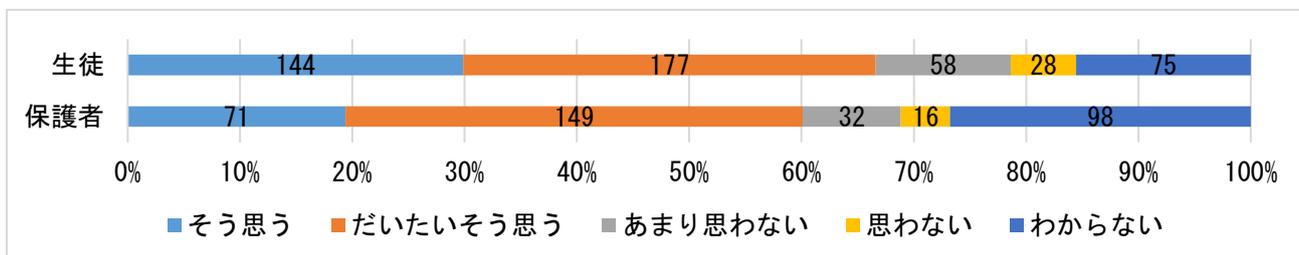
行事や部活動については、今年度、感染対策を取りながら、コロナ禍前に近い形で行事や部活動を行ってきたことが、進んで参加する意欲へとつながったと考えます。今後も、生徒が達成感・満足感を得られ、成長へとつながるよう進めていきたいと考えています。

【相談活動・いじめ防止・評価について】

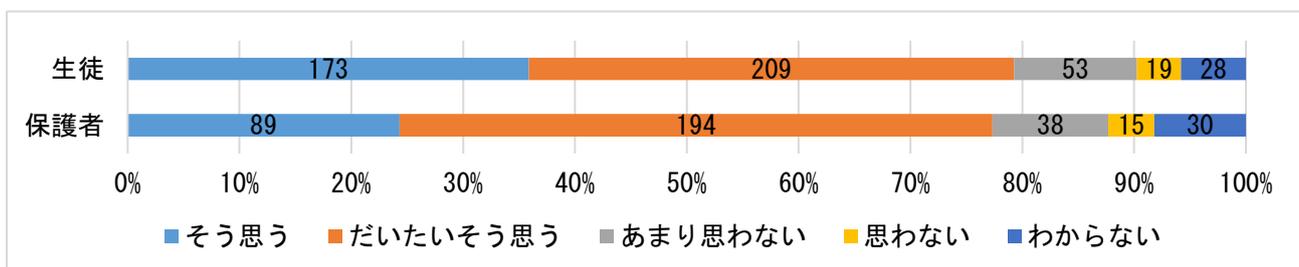
10. 先生は困ったときに相談しやすい。



11. 自分の学級ではいじめが起こりにくく、もし起こっても学校の先生たちは解決しようとしている。



12. 自分の学力等がよく分かる通知表になっている。

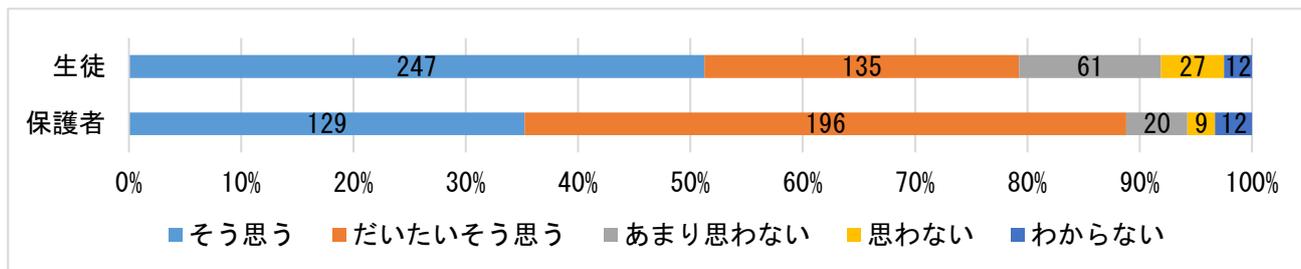


学校では、定期的に教育相談を行ったり、「困ったときは、一人で抱え込まずに誰かに相談することが大切」と生徒たちに声をかけたりしています。しかし、中には教師に相談しづらい生徒もいるようです。生徒の変化を感じ取り、教師から最初のきっかけづくり（声かけ）が行えるよう心がけ、生徒が相談したい大人の一人が教師となるよう努めていきます。また、いじめについては、早期対応、家庭との連携により、解決に向けて全力で取り組みます。

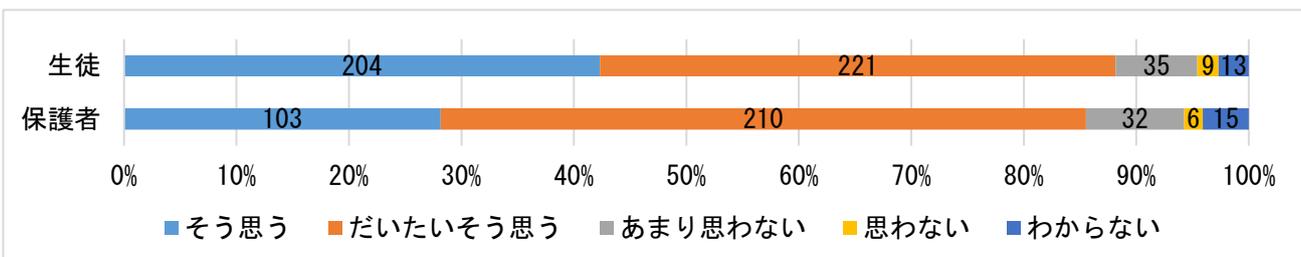
通知表については、より分かりやすくなるよう検討し、改善を進めていきます。

【地域ボランティア・広報・防災意識について】

13. 「高田の丘」(学校通信) や学年通信などを保護者にきちんと渡している。



14. 台風や地震などの災害時や不審者への対応の仕方について、分かっている。

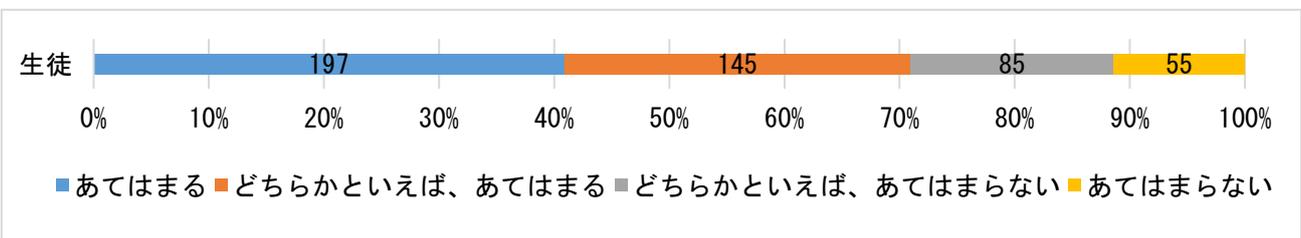


学校からご家庭への配付文書の多くは、1月より tetoru で配信しています。また、学校ホームページにも掲載していますので、ご覧ください。

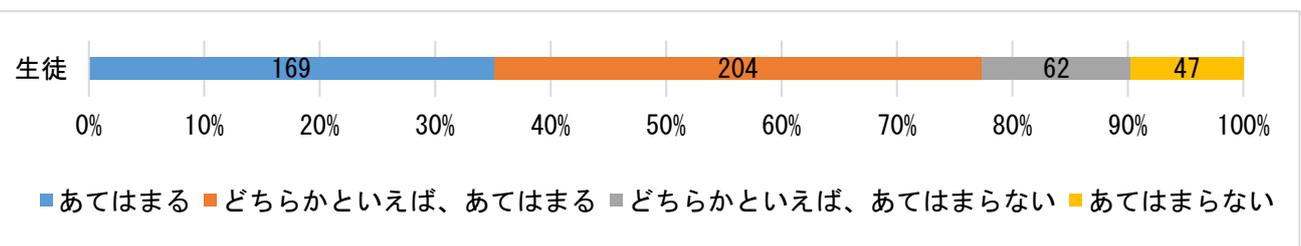
災害時の対応は、9割近くの生徒が分かっていると答えていますが、今一度ご家庭でも避難場所や避難方法について話し合う機会をぜひもっていただきたいと思います。

※設問15～20は、市内小中学校統一の設問です。

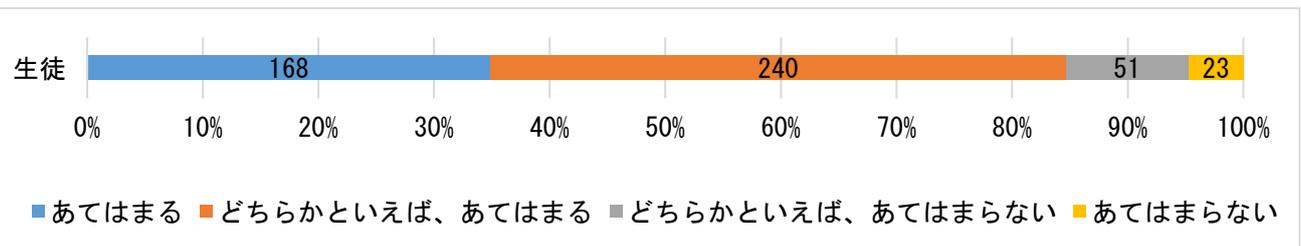
15. 将来の夢や目標をもっている。



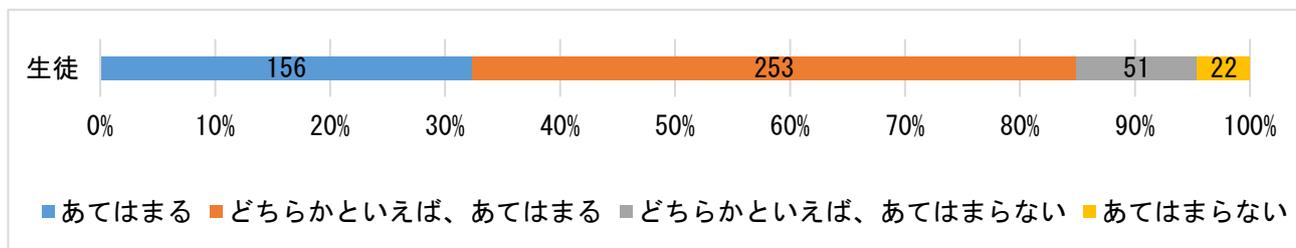
16. 自分には、よいところがあると思う。



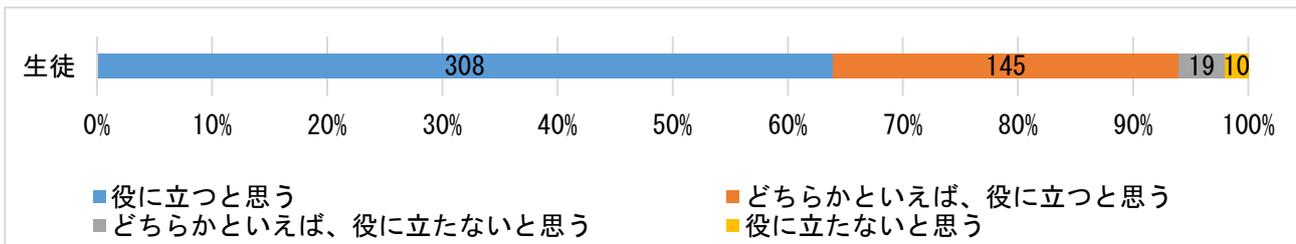
17. 話し合い活動や発表を通じて、自分なりの考えを深めたり、広げたりすることができている。



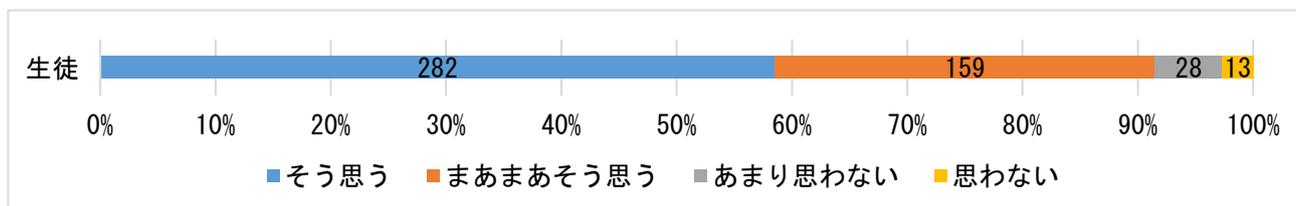
18. 授業では課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる。



19. 学習の中でタブレット端末などのコンピュータを使うのは勉強の役に立つと思う。



20. 自分の暮らすまちを大切に思う。



設問15、16のように、自分のよいところを自覚し、将来の夢や希望をもって学校生活を送れるよう今後も支援していきます。特に、2割以上の生徒がマイナスの回答をしているため、互いのよさを認め合うような学級経営が必要であると考えます。

今年度、授業や家庭学習でタブレット端末を活用する機会が増えました。設問19の結果に表れているように、タブレット端末が、生徒にとって意欲的に学習に取り組めるツールであることは間違いありません。タブレット端末の効果的な活用方法について検討し、実践していきます。

【保護者自由記述欄のご意見・ご感想(一部抜粋)】

- ・コロナがまだまだ収まらない中、学校行事を開催し、また親の参観をさせていただき、子どもの様子を見る事が出来てとても嬉しかったです。文化祭の翔燦太鼓と有志の発表は動画配信をさせていただき、ありがとうございました。
- ・新しい環境の中で、期待に楽しさにやる気にと、忙しさの中でも前向きな気持ちや充実感が子どもから感じることができて、ありがたく思っていました。先生も様子をよく見てくださっていて安心もできました。普段からクラスでの楽しい雰囲気のこと、担任の先生がクラスのよい空気をつくってくれていることがよく伝わってきていました。このような時期ですが、日々の生活に加えて、行事に対しての経験はやっぱり大きなものだと思います。また、上級生の姿を見たり、縦チームの経験もできたりしたのも、とてもよかったです。
- ・いつも楽しく通う日々感謝しています。煌鳩祭までの過程も、当日も、とても楽しそうに意欲的に参加していて、この日々こそ学校へ行く意味があるなと感じました。生徒もそして先生方も楽しそうだったので印象的でとてもよかったです。勉強だけではなく、それ以外のいろんな経験こそが学校に行く意味だと思うので、これからも子どもたちのためによりしくお願いします。
- ・今後も、子どもたちが団結できる行事の開催をお願いしたいです。
- ・話をしながらない時期でもあり、学校での出来事が分からないことがあります。毎日更新されるホームページは、学校の授業内容などが分かり、助かっています。生徒たちの主体性を引き出し教育していると感じています。

- ・今年度から高校入試の方法が大幅に変更になり、先生たちも大変な思いをされているのは理解しますが、三者懇談が名古屋市や他の市に比べると内容が薄すぎると感じます。本人の意思が大切といえども、親子ともに初めての経験です。情報や成績に関する相談の場がほしかったです。
- ・級長など、同じ人にかたよらず、チャンスをもたらえる仕組みがあるといいなと思います。
- ・学年通信の月予定表に下校時間が通常と違うときは載せてほしい。
- ・課題は、空欄があることを指摘するだけの赤入れ、内容や記入された欄に伺える努力についての評価がないのはいかがなものか。次につながる、やる気が起きるような評価の仕方をしてほしい。
- ・やる気までなくさせるような指導、課題の出し方は再考してほしい。作業量の評価が努力、理解の評価になっているように見える。
- ・たくさん書くこと、正しく丁寧な文字を書き続けること、全体を捉えること全ての要素がこなせないといけない。どれも苦手で難しいこともあり、学ぶことが好きなのに、書くこと、学ぶことに努力する気持ちを低下させつつある。テストでも、正しく書けないことで正答できない部分があり、理解度とイコールとはならないため、満足感・達成感が得られていない。仕方ないと諦めざるを得ないだけに、やる気までなくさせるような指導、課題の出し方は再考してほしい。作業量の評価が努力、理解の評価になっているように見える。

保護者の皆様には、さまざまなご意見やご感想をお寄せいただき、ありがとうございました。複数の方から同様のご意見があった内容を中心にお伝えしました。生徒が安心して学校生活を送る上で、必要なことや大切にしていかなければいけないことは何かを考え、今後の参考とさせていただき、検討していきたいと思っております。

【学校関係者評価委員会のご意見・ご感想(一部抜粋)】

令和5年2月7日(火)学校関係者評価委員会が開かれました。

地区コミュニティ会長様、学校評議員様、民生児童委員代表様に参加していただき、アンケート結果や授業の様子などから、貴重なご意見やご感想をいただきました。今後とも、地域の皆様のお力添えをよろしくお願ひいたします。

- 「設問15 将来の夢や目標をもっている」、「問16 自分には、よいところがあると思う」で、「あてはまらない」を選んだ生徒が、自己肯定感を高められるような教育、魅力ある学校づくりをしてほしい。
- 「設問20 自分の暮らすまちを大切に思う」で、9割以上の生徒が肯定的に答えている。辛いこともいろいろあると思うが、この気持ちが大切だと思う。コミュニティの活動にもどんどん参加してほしい。
- 電子黒板、タブレット端末を使うよさが分かった。今後も、学習に効果があるような使い方を期待している。
- 生徒の一生懸命な姿を見ることができ、感動した。学力も大事だが、いろいろな人に共感してもらうこと、刺激を受けること、感動できることが大切だと思う。生徒から「やってよかった」という言葉を聞くことができてよかった。

【おわりに】

さまざまな教育活動に対して、保護者の皆様に温かく見守っていただいたことに改めて感謝申し上げます。今回の結果に、今年度の教育活動の成果と課題が凝縮されていることを真摯に受け止め、引き続き改善に努めていきます。

教職員一同力を合わせ、教育活動に取り組んで参りますので、今後とも保護者の皆様による中部中学校へのご支援ご協力をお願い申し上げます。